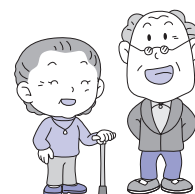




地域包括支援センターです

■ 問合せ 地域包括支援センター ☎ 47-8009
 地域包括サブセンター(今庄) ☎ 45-1170
 地域包括サブセンター(河野) ☎ 48-2260



防ごう！「高齢者虐待」～虐待の種類について⑤～

「セルフネグレクト」とは自分の意思で、食事や、衛生管理を行わず、身なりなどにも無頓着になり、いわゆる「ゴミ屋敷状態」になっていても周囲に援助を求めようとしない状態のことを指します。高齢者虐待ではありませんが、防止や解消に向けて高齢者虐待と同じように支援が必要な状態です。最近では、高齢者のセルフネグレクトが増え、孤独死に繋がるケースもあります。原因として、うつ病や認知症などが考えられ、一人暮らしなどの場合に多く見られます。そのため自分だけでは生活していけない状況なのに、誰にも助けを求めなかったり、支援を拒むようになります。

このような「セルフネグレクト」にある状態の方は地域からも孤立しがちです。ご近所同士で声をかけあい、見守りをしながら高齢者の孤立を防ぎましょう。また、地域で心配な方がいる場合は地域包括支援センターまでご相談ください。

その5「自己放任(セルフネグレクト)」となる行為

- 例えば…
- ★ 食べる意欲も失せ、必要な食事を取らない。
 - ★ 不衛生な環境で生活する。
 - ★ 医療や福祉のサービスを拒否する。
 - ★ 金銭の管理をしっかり行わなくなる。
 - ★ 家族や友人との交流をしなくなる など



流動創生

7月23日(土)～8月19日(金)の期間で町内滞在企画「ストップオーバー 流動創生夏合宿」を開催しました。本企画は主に町外に住む方を対象に、期間内でいつでも都合の良いときに町に滞在して頂き、町内の方と交流したり地域の仕事をするなど、南越前町を流動の拠点、生活の拠点の一つとして捉えて頂くためのものです。

今回は約20名(延べ50名以上)の方が参加され、初めて南越前町に来町された方のほか、昨年流動創生事業のイベントで来町され、その後も度々訪れているリピーターの来町者の方も多く参加されました。南越前町が、東京や大阪などの都市に住みながらも、地域に関わりたい方や、旅をすることが好きな方などにとって重要な活動拠点になりつつあることを感じられました。

夏合宿前半は、参加者は農作業や、ハスの収穫作業など地域の仕事で汗を流すとともに、はすまつりやきとっけ今庄宿の市、河野夏まつりなどに足を運びました。

農作業をされた参加者の方は「1週間楽しかったです！また来ます！」などと話し、参加者を受け入れた南条蓮生産組合 井上典宣組合長は「人が来てくれて助かった。来年も来てほしい。」と話されました。

次回10月号では引き続き、夏合宿後半の様子が滞在者の声をお伝えいたします。



■ 問合せ 観光まちづくり課 ☎ 47-8013 [流動創生](#) [検索](#)